LPAの会からのお役立ち情報

65歳になると（年金と介護保険）

私事ですが、昨年65歳になりました。めでたく前期高齢者です。

65歳は日本の制度において大きな節目です。65歳になると何が変わるのか、年金と介護保険の制度についてお話ししましょう。

1. 年金

(1)申請書類が届く

誕生月の3ヶ月ほど前に、日本年金機構から「年金申請書類」が届きました。私立高校に勤めたことがあるので、私学共済事業団からも届きました。生年月日の確認はもちろん、扶養家族とか、他の年金制度への加入履歴とか、配偶者の年金や収入とか、20ページぐらいの分量があります。必要書類もいろいろありますが、マイナンバーを書くと省略できるものもあります。

申請書類は誕生日が過ぎた後に提出します。

(2)年金の振り込みはすぐには始まらない

書類を提出すると年金証書が届き、年金の振り込みが始まることになります。年金の支給は、誕生月の翌月分から受け取る権利がありますが、振り込みは偶数月なので、振り込まれるまでには時間がかかります。私は11月生まれなので12月分から受け取れるのですが、12月に振り込まれるのは10月分と11月分。つまり、その次の2月でないと、支給が始まらないのです。奇数月生まれは3か月後に2か月分、偶数月生まれは2か月後に1か月分が振り込まれるということです。

ところで、法律では「〜歳になる日」というのは、いわゆる誕生日の前日と決まっています。つまり、1日生まれの人は前の月が誕生月になります。4月1日生まれが早生まれとして前年度に組み込まれるのは、この規定によります。

(3)年金の繰り下げ

実を言うと、私はまだ働いているので年金額が少ないので、繰り下げをすることにしました。というわけで申請書類はまだ提出していません。年金は1年以上1か月単位で繰り下げることができます。1か月につき0.7%、1年で8.4%の増額になります。ただ、繰り下げによる増額分で、受け取らなかった1年分の年金額を取り返すには12年ぐらいかかる計算です。せいぜい健康で長生きしなくては。

年金の繰り下げは厚生年金と基礎年金のどちらか一方だけでもできます。

65歳以前に支給される厚生年金を「特別支給」といいますが、私は62歳から受け取っています。この年金には繰り下げによる増額はありません。受給権ができたらさっさともらいましょう。

このように、一口に「年金」といってもいろいろな種類があります。今、どの年金の話をしているのか、用語に気をつけて読んでいただけるとありがたいです。

次回7月号で、もう少し年金のお話と介護保険のお話を掲載します。

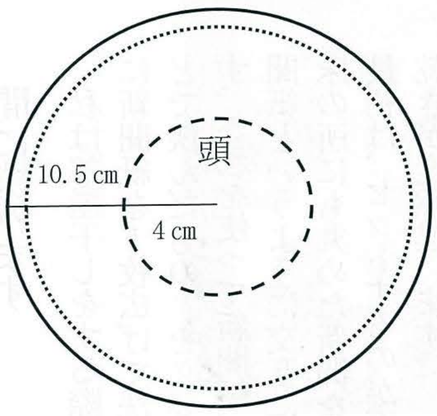
カンタン小物

あーしたてんきになーれ
スマイルてるてる

〜材料〜
布　（本体と帽子）
リボン（幅1cm×30cm）
山道テープ60cm
花のレース1枚（帽子飾り）
ボールチェーン1本
針・糸　綿少し
ピンキングばさみ　ペン（黒）

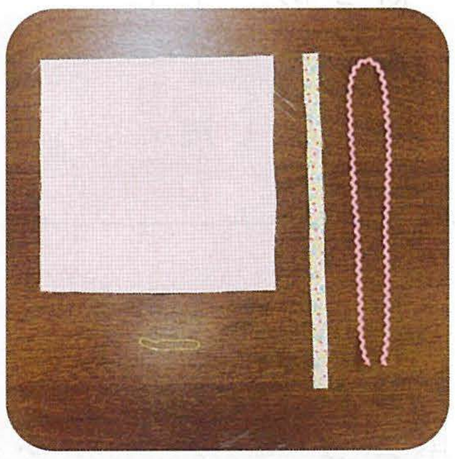
1、布に半径10・5cmの円を描き、ピンキングばさみで切る。頭の部分は、中心から半径4cmの円を描く。

2、本体の周囲1cmの位置に山道テープを縫い付ける。（山道テープを待ち針で固定する。）



点線：山道テープをつける
破線：ぐし縫い

3、頭になる部分をぐし縫いし（糸2本取りで）、糸は長めに残しておく。



4、頭部分に綿を詰めてしぼり、糸を巻きしっかり結ぶ。

5、帽子は半径2.5cmの円を布に描き、はさみで切る。端から0.5cm折りながら、大きめの目で周りを縫いしぼる。しぼったところに花のレースをボンドでつける

6、頭上に、糸でチェーンを縫いつけ、首にマフラーをリボン結びでつける。目、口をペンで書いて出来上がり。

布が違えば、またちがった雰囲気のてるてるが出来ます。色々作ってみてね。

Q&A拡大版

別々の日に購入した「CO・OP強炭酸」のペットボトルの色が違う事に気付きました。製造場所などで色に違いが出るのでしょうか？

未開封品2本を製造メーカーで調査しました。確認したところ、2本を比べる、1本のペットボトル容器の色が、わずかに黒色がかっていました。

当商品は複数の工場で製造をしています。現品の印字情報から調査をしましたところ、2本は異なる工場で製造されており、黒っぽい方はリサイクル原料容器を使用している工場で製造されていることが分かりました。

リサイクル原料容器は、リサイクルPETを原料として容器成形したものです。PET樹脂の不純物を高温・減圧下で吸い出して純度を高め、ペットボトルとして再利用しています。

品質に問題のあるものではございませんが、原料樹脂の違いや光の当たり方などにより、容器の色調や見え方にわずかな差が生じる場合がございます。

また、中の炭酸水についてはいずれの工場でも品質検査（外観検査、官能検査（におい、味）などを人の五感で確認する検査）、中身分析など）を行い、すべての基準を満たしていることを確認しています。現品2本の製造当日の記録類を調査しましたところ、トラブルの発生などはなく順調に製造を行っておりました。品質検査結果にも問題の記載はございませんでした。

調査の結果このたびは、ペットボトル容器の原料の違いが色の違いの原因である可能性が考えられました。これを受け、製造工場では、引き続き商品の品質管理に細心の注意を払うことを確認しました。

チョットだけ

リサイクルペットボトルについて

2000年代当初まで、衛生面や匂いなどの問題から、飲料用PETボトルの製造にリサイクル原料は利用されていませんでした。しかしながら、2003年に上記の問題をクリアした使用済みペットボトルから飲料用ペットボトルを作る「ボトルtoボトル」の施設が稼働を開始しました。2011年には、真空・高温により再生原料から不純物を除去する方法でリサイクルする方法も確立され、年々「ボトルtoボトル」のリサイクルは増加しています。

2019年時点で、「ボトルtoボトル」のリサイクル率は約12.5%ですが、清涼飲料業界の業界団体である一般社団法人全国清涼飲料連合会では、「ボトルtoボトル」比率50%を目指した取り組みを開始しています。

その他、リサイクルがしやすいよう色がついた飲料用ペットボトルを国内で製造しないことにしたり、そもそもの使用量を減らすため軽量化したりすることなどが取り組まれています。